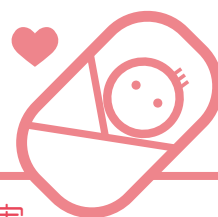


第1章

すくすく子育て学びのまちづくり

政策1

明日の稲敷を担う子どもたちを育みましょう！



施策1▶ 質の高い教育・保育及び総合的な子育て支援の充実

施策2▶ 社会を生き抜く力を育てる義務教育の推進

政策2

楽しく学び続ける環境をつくりましょう！



施策1▶ 市民主体の生涯学習社会の構築
(図書館・公民館・青少年健全育成)

施策2▶ 市民が楽しく取り組める生涯スポーツの推進

施策3▶ 地域文化の継承
(歴史・文化財、芸術・文化、国際化・国際交流)

政策

1

明日の稲敷を担う子どもたちを
育みましょう！

稲敷の豊かな自然や地域の人と人とのつながりのなかで、誰もが安心して子育てができ、次世代を担う子ども達が夢や希望を叶えられる、住んでいて良かったと思えるまちになるといいですね。

そんな子育て・教育環境の実現のため、家庭と地域、学校などが手を取りあい、支え合うまちづくりを進めます。

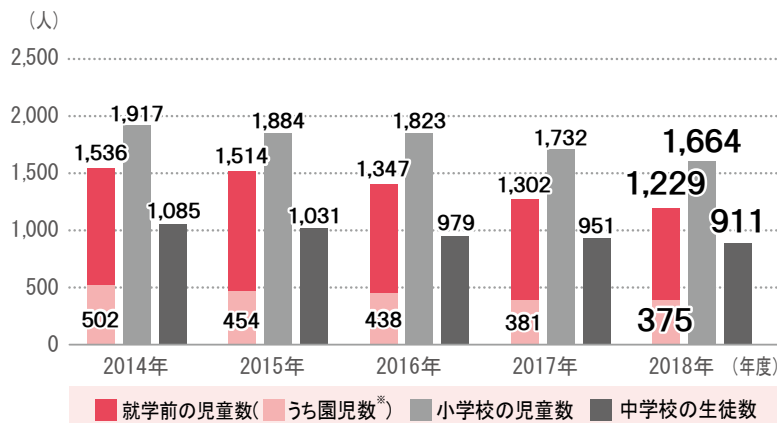
施策 1

質の高い教育・保育及び総合的な子育て支援の充実

子どもが家庭や地域の中で温かく見守られ、幸せにすくすく育つ環境をつくるため、本市ならではの人となりの豊かなつながりを大切にしたい地域ぐるみの子育てを、積極的に支援します。また、国の動向を把握しながら、保護者のニーズに柔軟に対応し保育と教育を総合的に捉えた子育て支援を進めていきます。

子ども達の「生き抜く力」の基礎となる自主性・自立性を育むため、幼児期における就学前教育と家庭教育を推進するとともに、幼児教育を小学校教育にスムーズにつなぐ体制をつくります。また、本市の豊かな自然環境を生かした交流・体験活動の充実に取り組みます。

就学前児童・園児・児童・生徒数の推移



就学前児童、
小学校児童、
中学校生徒ともに
減少が続いています。

DOWN

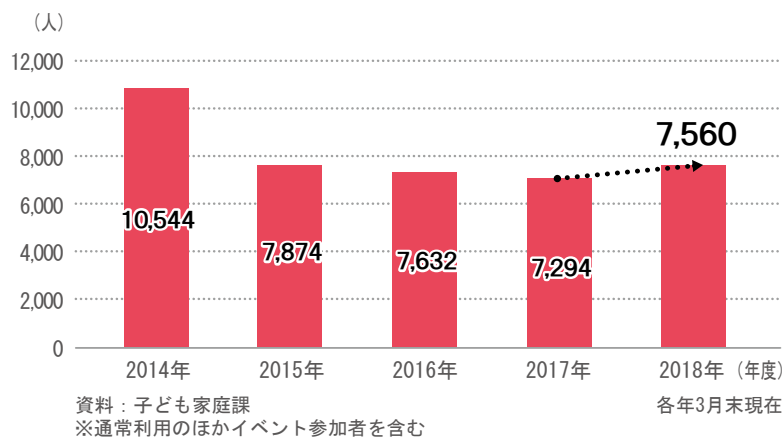
資料：子ども家庭課

各年5月1日現在

※幼稚園及び認定こども園の幼稚園部門の園児数（私立を含む）

※就学前児童数は常住人口調査各年4月1日現在

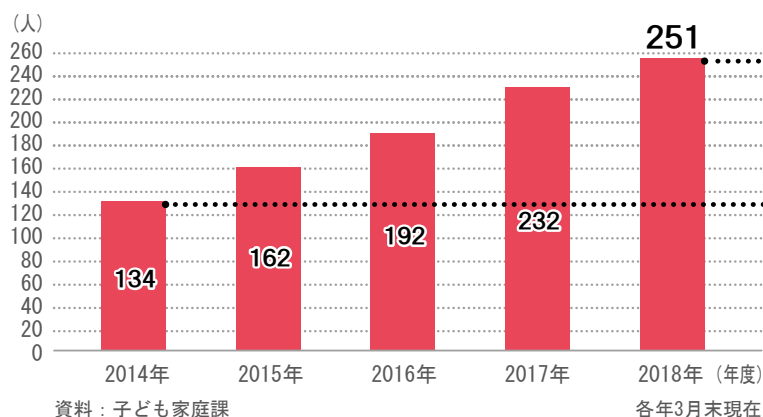
子育て支援センター「あいアイ」利用者数



減少傾向にありましたが
2018年度は
増加
に転じました。

UP

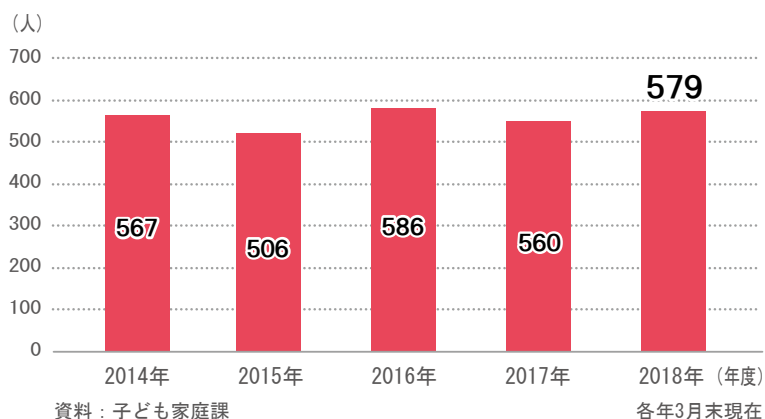
ファミリーサポートセンターの登録会員数



5年間で
約**2倍**

高い増加率になっています。

三世代交流の参加者数



三世代交流の参加者数は
ほぼ横ばいとなっています。

具体的な取組

〔子育て支援〕

取組 ① 総合的な子育て支援の充実

1	放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する「新・放課後子ども総合プラン（厚生労働省・文部科学省）」の取組を推進します。	こども支援課
2	放課後児童クラブを充実させ、待機児童を出さないことを目標とするとともに、入所児童の安全を図るため、現有施設についての調査検討を行い、必要な改修や改築を推進していきます。	こども支援課
3	仕事と生活の両立を支援し、安心して子育てができるよう、保育サービスの充実を図ります。また、親の就労実態に対応するための延長保育や緊急時に児童を預かる一時保育、障がい児保育、休日保育（終日）、病児保育など保育サービスの拡充を図ります。	学務管理課 各こども園
4	子育て世帯の経済的負担を減らすため、認定こども園や幼稚園、保育所の保育料の軽減など子育て環境の向上に努めます。	学務管理課
5	保護者ニーズと保育サービス等を適切に結びつける子育て支援コンシェルジュを配置し、ニーズに合った適切な子育てサービスの利用を進めます。	こども支援課
6	親と子の絆を深めることを支援するため、わが子が生まれた感動や喜びをメッセージにして未来へ届けます。	市民窓口課

取組 ② 地域における子育て支援の充実

1	在宅の親と子を対象に、子育て中の親子の交流を目的とした市内5か所の「子育て支援センター」の充実を図ります。	こども支援課
2	子育て支援センターにおいて、支援を必要とする子育て家庭をサポートする、ファミリーサポートセンター事業の充実を図るとともに、育児に悩む親に対して、相談事業の充実や子育てサークルの育成支援、子育て情報の提供などに努めます。	こども支援課
3	祖父母にも育児に参加してもらうことにより、保護者の子育て負担を軽減するとともに、祖父母が子育てを理解し、協力を得られるよう三世代交流を支援します。	こども支援課
4	子育て支援情報を提供する子育て情報サイトやアプリの充実を図ります。	こども支援課

取組 ③ ひとり親家庭等の自立支援の推進

1	母子家庭、父子家庭等のひとり親家庭の生活の安定を図り、児童の健やかな成長を支援するため、各種相談体制の充実やきめ細かな子育て支援サービスの提供に努めます。	こども支援課
---	---	--------

取組 ④ 児童虐待の防止・根絶

- 1 家庭相談員の拡充により、相談体制の整備を進め、児童虐待防止のためのネットワーク体制の充実を図ります。また、関係機関との円滑な連携や協力を引き続き実施し、虐待を受けている児童の早期発見や適切な支援に努めます。

こども支援課

具体的な取組

〔幼児教育〕

取組 ⑤ 総合的な幼児教育の推進

- 1 教育、学術、文化の振興に関する総合的な施策の大綱である「稲敷市教育大綱」及び教育の振興に関する施策の基本的な方針である「稲敷市教育振興基本計画」に本市における幼児教育の施策全般を位置づけ、幼児教育全体の枠組みについて具体的な方針などを定め、総合的な視点からの幼児教育を推進します。

教育政策課
各幼稚園

- 2 将来的なニーズを踏まえ、適正な保育施設及び幼児教育施設のあり方を検討するとともに、子ども達が安全に過ごせる環境づくりに努めます。

学務管理課

取組 ⑥ 幼児の発達に応じた指導の充実

- 1 一人ひとりの幼児の成長や発達に応じた支援体制や教育内容の充実を図ります。

指導室

- 2 学習意欲や活動意欲の基礎となる運動あそびの充実を推進し、学びに向かう態度の育成を図ります。また、集団の中での主体的な遊びを通して、「生き抜く力」の基礎を培うとともに、幼児期にふさわしい生活のために必要な基本的な習慣や規範意識の芽生えが培われるように支援します。

指導室

- 3 本市の豊かな自然環境を生かし、様々な自然体験活動の場や機会の充実を図ります。

指導室

- 4 教員、保育士等の研修を充実し、資質及び専門性を高めることにより、質の高い幼児教育、保育を目指します。

指導室

取組 ⑦ 幼稚園等における家庭教育の推進

- 1 基本的な生活習慣・生活能力、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的なマナー、自制心や自立心など「生きる力」の基礎的な資質や能力は、家庭教育においてこそ培われるものとの認識に立ち、家庭、地域、教育機関の連携により、幼児期における家庭教育に関する情報発信、広報・啓発活動を推進するとともに、支援が届きにくい家庭に向けて、アウトリーチ型の届ける家庭教育を推進し、ケースに応じて専門機関への接続を支援します。

生涯学習課

- 2 認定こども園や幼稚園を幼児教育の拠点と位置づけ、教育相談や交流、研修機能などの充実を図ります。

生涯学習課

取組 ⑧ こ幼保小連携教育の推進

- | | | |
|---|--|--------|
| 1 | 異年齢交流や合同研修、相互授業参観など同一中学校区におけるこ幼保小の連携を推進します。また、アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの接続を見通した教育課程の編成を推進します。 | 指導室 |
| 2 | 小学校入学を控えた家庭への入学のお祝いとして学用品の購入などの補助を実施し、子育て世代の経済的な負担の軽減を図ります。 | こども支援課 |

目指すこと

〔目標指標〕

指標

1 子育て支援コンシェルジュへの相談件数 子育て支援センターの行事や各種健診へのコンシェルジュの派遣等を通し、相談機会を確保します	現況値 2018年 60 件/月 ↓ 将来値 2023年 60 件/月
2 子育て支援センター「あいアイ」利用者数 育児の相談や情報提供などの充実を図り、子育て支援センター「あいアイ」の利用者数の増加を目指します	現況値 2018年 7,560 人 ↓ 将来値 2023年 8,200 人
3 ファミリーサポートセンターの登録会員数 ファミリーサポートセンターに登録している提供会員、依頼会員の増加を目指します	現況値 2018年 251 人 ↓ 将来値 2023年 280 人
4 乳幼児訪問件数（養育支援訪問事業） 養育支援が必要な家庭に対し、子育ての相談を行う乳幼児訪問を継続して実施します	現況値 2018年 238 件 ↓ 将来値 2023年 200 件
5 子育て支援情報サイト登録者数 子育てに関するニーズを踏まえ、アプリ等を充実させることで、サイト登録者の増加を目指します	現況値 2018年 120 人 ↓ 将来値 2023年 300 人
6 子育て情報「はあとマガジン」の登録者数 市内各支援センターの情報をメール配信する「はあとマガジン」の登録者の増加を目指します	現況値 2018年 556 人 ↓ 将来値 2023年 600 人
7 子育て学習会参加者数 子どもや子育てに関する子育て学習会の充実を図り、継続的な実施と参加者の増加を目指します	現況値 2018年 520 人 ↓ 将来値 2023年 600 人
8 三世代交流の参加者数 三世代交流の内容の充実を図り、参加者の増加を目指します	現況値 2018年 579 人 ↓ 将来値 2023年 600 人
9 園児と児童生徒（小・中）との交流活動の回数 園児と児童生徒との交流活動の実施回数を年間3回以上とし、小学校・中学校ともに交流を持つようにします	現況値 2018年 3.6 回 ↓ 将来値 2023年 3 回以上

関連する計画・指針など

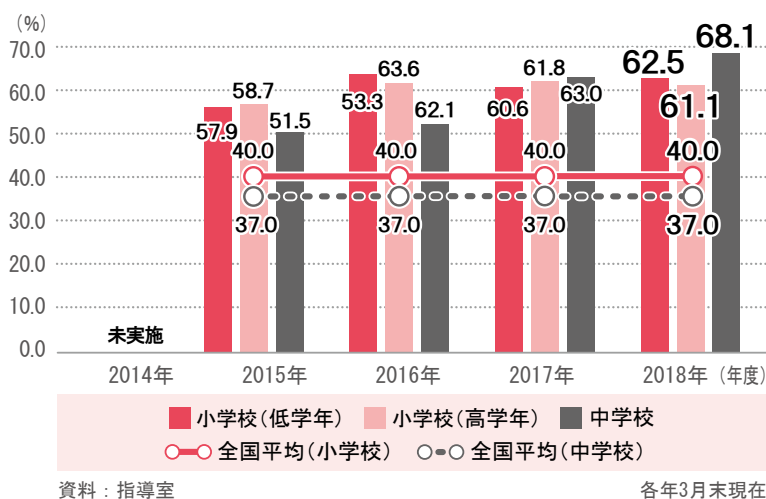
いなしき子ども・子育てプラン（2020年度～2024年度）

施策2 社会を生き抜く力を育てる義務教育の推進

稲敷市の次世代を担う子ども達の夢と希望を育み、自らの未来を拓いていく力、知・徳・体のバランスのとれた「生き抜く力」を醸成することのできる環境づくりを目指します。また、学校、家庭、地域の連携力を高め、自主的・自立的に生きる“いなしきっ子”※を育てます。

急速に変化する時代や一人ひとりの教育的ニーズに対応できる児童生徒の育成に努めるため、質の高い教育環境の整備を進めます。

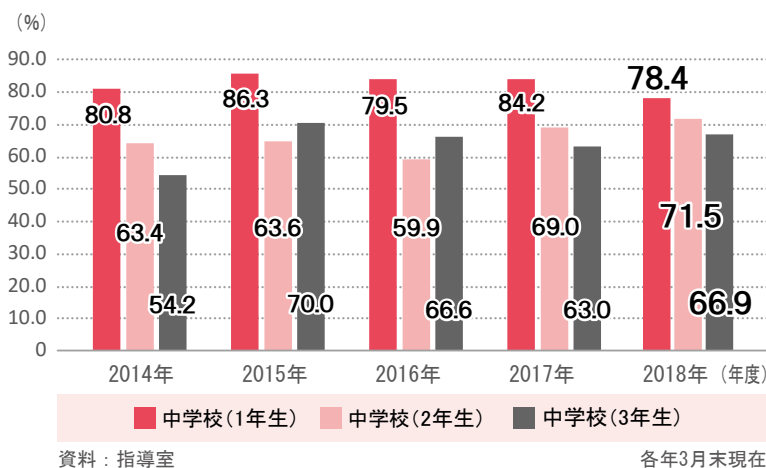
市内Q-U調査による学校生活満足群の割合



2015年度から調査を実施し、小学校では横ばいですが、中学校では**増加**が続いています。

UP

学力診断テストにおけるヒアリングの正答率



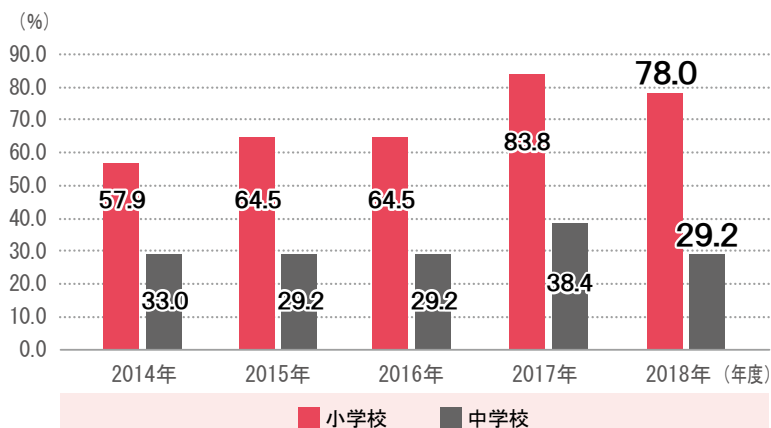
中学1年生では**減少**、中学校2年生と3年生では**増加**しています。

DOWN

UP

※いなしきっ子とは、本市の教育が目指す「自主性、自立性に富み、優しさや思いやりをもって強くたくましく生き抜く子ども」のこと。

児童生徒の読書習慣の定着状況



資料：教育学務課

各年3月末現在

※小学校(50冊/年)、中学校(30冊/年)の年間目標に対する割合

5年間の平均
小学校
69.7%

5年間の平均
中学校
31.8%

学校のICT機器整備率



	現況
電子黒板	87.1%※1
無線LAN	江戸崎中・新利根中 (移動式)※2
教育用PC1台あたりに 対する児童生徒の数	5.78人に1台

資料：教育学務課

2019年10月現在

※1 国がICT機器の整備目標(電子黒板は普通学級1学級1台)の年次としている令和3年には、学級数の減少から100%となる見込み

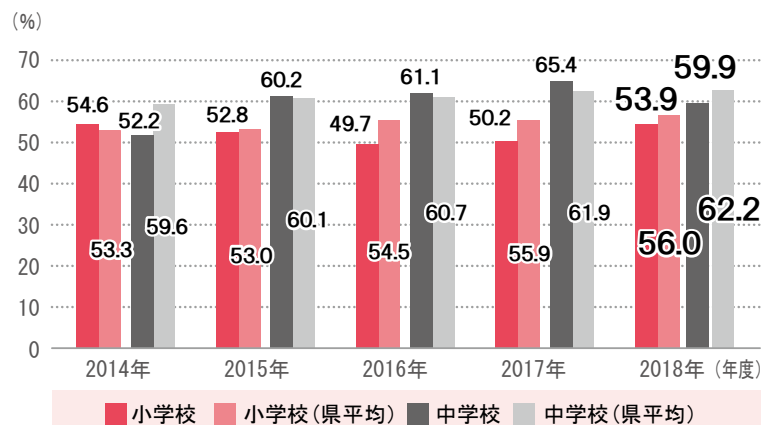
※2 有線LANについては全校整備済み。当該2校はタブレットPC導入に伴い移動式アクセスポイント導入

目標

各普通学級への
無線LAN整備率
100%

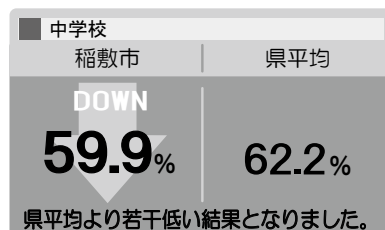
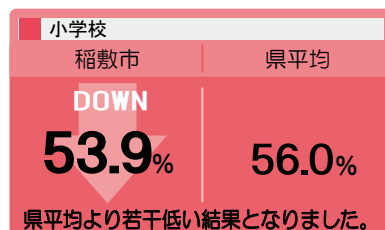
タブレット
端末の整備率
1人に1台

体力テスト総合評価がAまたはBの児童生徒の割合



資料：指導室

※握力や50m走、ボール投げなど8種目の得点を合計し、年齢ごとに基準を設定し、AからEの5段階の評価(A:優れている B:やや優れている C:ふつう D:やや劣っている E:劣っている)のうちAとBの合計

AまたはBの児童生徒割合
(2018年度)

具体的な取組

取組 ① 総合的な義務教育の推進

1

教育、学術、文化の振興に関する総合的な指針である「稲敷市教育大綱」及び教育の振興に関する施策の基本的な方針である「稲敷市教育振興基本計画」に基づき、総合的な視点での学校教育を推進するとともに定期的な見直しを図ります。

教育政策課

取組 ② 確かな学力を身に付けた“いなしきっ子”の育成

1

すべての児童生徒が「わかる喜び」や「学ぶ意義」を実感できるよう工夫した授業や問題解決的な学習、体験学習（直接体験）を重視する授業により、主体的、協働的な学びを推進します。

指導室

2

少人数指導や習熟度別グループ学習、ティーム・ティーチングなどの指導方法を積極的に取り入れ、個に応じた指導を行うことで、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図ります。

指導室

3

児童生徒の学力向上に向けて、学習意欲を高め、規律ある学習態度を確実に身に付けさせるため、家庭学習の充実を図るなど、学校と家庭が連携をしながら、学習習慣の確立に努めます。

指導室

取組 ③ 豊かな心をもつ“いなしきっ子”の育成

1

児童生徒の人権に関する意識を育成するため、人権教育や「生き抜く力」の重要な要素である豊かな心を育む道徳教育の充実に努めます。

指導室

2

生徒指導の充実を図るため、いじめ等の問題行動に対応するスクールカウンセラーや学校生活支援員（警察官OBなど）を配置し、心のケアや問題行動等の未然防止や早期発見、早期解決に努めます。また、不登校児童生徒に対して、稲敷市教育センター内の適応指導教室に教育相談員等を配置し、相談事業及び適応指導を行います。

指導室

3

学校生活の意欲と学級満足度を把握するQ-U調査※を活用し、教員の学級経営力の向上に努めます。

指導室

4

障がい児の保護者に対し、関係各課が連携し、障がいの早期発見や早期対応、相談機会の提供、相談場所の拡充に努めます。

社会福祉課
健康増進課
子ども支援課

※ Q-U 調査とは、楽しい学校生活を送るためのアンケートで、学校生活意欲と学級満足度で構成され、学級診断アセスメントやいじめ、不登校などの問題行動の予防と対策にもつながる調査のこと。

取組 ④ 健やかな体をもつ“いなしきっ子”の育成

1	学校体育の充実を図るため、児童生徒自らが体力を高めようとする体育学習の充実に努めます。また、スポーツの楽しさや喜びを味わい、学校生活を豊かにする運動部活動については、「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に基づき、適切な運営体制、指導、休養日の設定などに取り組みます。	指導室
2	児童生徒の発達段階等に応じて、正しい生活習慣や心の健康、性に関する指導、薬物乱用防止、生活習慣病、生活安全などについて、知識と実践力を身に付けるために学校健康教育の充実に努めます。	指導室
3	学校給食においては、食材の安全確認と地産地消の推進に努めるとともに、調理法の安全確保、添加物などに配慮した安全な食事の提供に努めます。また、児童生徒の健康を保持し、望ましい食習慣の形成と食の自己管理能力を育成するため「食に関する指導」の実践や強化に努めます。	給食センター 指導室
4	豊かな人間性を育むため、キャンプ等の環境学習や自然体験学習の充実に努めます。	生涯学習課 環境課

取組 ⑤ 時代の変化や教育的ニーズに対応した教育の推進

1	小中学校における、職場体験活動の充実を図り、自らの意志と責任で、進路を主体的に選択する能力を養うキャリア教育の推進を図ります。	指導室
2	国際教育の充実を図るため、全小中学校や認定こども園、幼稚園に外国語指導助手（ALT）を配置するとともに、英語検定受験料を補助し、児童生徒の英語力及び学習意欲の向上に努めます。	指導室
3	地域との連携による学校の防災力強化推進事業やジュニア防災検定推進事業など、防災教育の充実を積極的に推進します。	指導室 学務管理課
4	地域の伝統や文化、産業について、体験活動をもとに学ぶ郷土教育や、身近な自然資源を題材にした環境教育などの充実を図ります。	指導室
5	Society5.0 時代に向けて、ICT を活用した授業*の推進により、情報活用能力を育てる教育の充実を図ります。	指導室 学務管理課
6	特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育支援員や学校教育支援員を配置し、幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた適切な指導ができるよう指導力の向上に努めます。	指導室
7	市民の参画のもと、子ども達の学習やスポーツ、文化活動、地域の交流活動等に取り組みます。また、「新・放課後子ども総合プラン（厚生労働省・文部科学省）」に基づき放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的な整備等を推進します。	こども支援課
8	学校給食費の一部無償化に取り組み、子育て世代の経済的負担の軽減を図ります。	給食センター

※ICTを活用した授業とは、情報通信技術（ICT）の活用方法を教育の一環として取り入れた教育のこと。（例えば、電子黒板を活用した授業など）

取組 ⑥ 質の高い教育環境の整備

1	「稲敷市学校再編整備実施計画」に基づき、小学校の適正配置を進めます。また、中学校においても今後の動向を見ながら再編を検討するとともに、義務教育を連続した教育課程として捉え、小中一貫教育の実施を検討します。	教育政策課
2	学校施設については長寿命化計画等に基づき、老朽化した学校の改修や設備の更新等を行い、安全で快適な学校施設の整備に努めます。	学務管理課
3	児童生徒の読書活動を推進するため、図書館司書による読書に関する指導にあたっては、学校間の連携及び図書館との連携を図りながら取り組んでいきます。	教育政策課
4	タブレット端末や無線 LAN 等の ICT 機器の導入、ICT 補助員の配置、教職員のスキルアップ研修の実施など、情報教育の充実を図るため、「教育振興基本計画」に基づき、学校の ICT 環境の整備を推進します。	学務管理課 指導室
5	小中学校通学用スクールバスの運行や通学用定期券の補助などにより、通学時の安全確保や保護者の経済的負担軽減に努めます。	学務管理課
6	経済的な理由によって就学困難と認められる小中学校の児童生徒の家庭に、学習に必要な費用の一部を援助する小中学校就学援助費の拡充に努めます。	学務管理課
7	経済的理由により就学が困難な大学、短大、専門学校に進学する生徒及び在学している学生への奨学資金貸与事業については、より利用しやすいシステムを検討するとともに、奨学生応募の PR に努めます。	教育政策課
8	アレルギー対策や衛生管理を進化させた安心安全でおいしい給食を提供するため、新たな給食センターの整備等を検討します。	給食センター 教育政策課
9	「稲敷市教育センター」の活用により、教職員の資質や能力の向上を図るとともに、「稲敷教育センター」を軸とした不登校児童生徒への支援体制を推進します。	指導室

取組 ⑦ 生活困窮世帯の子どもに対する学習支援

1	生活困窮世帯などの生まれ育った環境によって不利益を被り、学習意欲の欠如及び学校や家庭に居場所を持たない子どもに対し、「学び直しの場」「安心できる居場所」を提供すると同時に、学校から社会への移行期を支える社会的支援を行います。	生活福祉課
---	--	-------

目指すこと

〔目標指標〕

指標

1 漢字の読み・書き、四則計算の定着状況
(対象:小学校6年生、中学校3年生)

全国学力・学習状況調査における漢字の読み・書き、四則計算の正答率の向上を目指します

	小学校・漢字	小学校・算数	中学校・漢字	中学校・算数
現況値 2018年	66.8 %	59.7 %	79.6 %	60.8 %
将来値 2023年	87.0 %	85.0 %	85.0 %	80.0 %

3 英検合格者数
(対象:小学校6年生、中学校3年生)

英検5級(小学校)、英検3級(中学校)の合格者数の増加を目指します

	小学校	中学校
現況値 2018年	23人 8 %	61人 20 %
将来値 2023年	50人 15 %	120人 40 %

5 ジュニア防災検定
合格者数
(対象:市内全小学校)

小学校5年生のジュニア防災検定合格者数の割合の向上を目指します(平成27年(2015年)はモデル校での実績)

現況値 2018年

100 %

将来値 2023年

100 %

7 Q-U調査による学校生活満足度の割合

学校生活意欲と学級満足度の向上を目指します

	小学校低学年	小学校高学年	中学校
全国平均	42.0 %	39.0 %	37.0 %
現況値 2018年	62.5 %	61.1 %	68.1 %
将来値 2023年	65.0 %	66.0 %	64.0 %

2 家庭学習の取組状況(宿題含む)
(対象:小学校6年生、中学校3年生)

学校の授業時間以外に普段1日当たり60分以上勉強をしている児童生徒の割合の向上を目指します

	小学校	中学校
現況値 2018年	52.0 %	60.8 %
将来値 2023年	70.0 %	80.0 %

4 タブレット端末の導入台数(割合)

小中学校普通教室に各台の整備を目指します

	小学校	中学校
現況値 2018年	0台	80台
将来値 2023年	1人に1台	1人に1台

6 放課後子ども教室の開催校数

放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動等を通して心豊かでたくましい子どもの育成に取り組みます

現況値 2018年

8校

将来値 2023年

全小学校での開催

8 地域の行事に参加しているという児童生徒の割合
(対象:小学校6年生、中学校3年生)

全国学力学習状況調査結果における地域の行事に参加しているという児童生徒の割合の向上を目指します

	小学校	中学校
現況値 2018年	61.9 %	53.2 %
将来値 2023年	80.0 %	60.0 %

指標

9 体力テスト総合評価の割合
(対象:小学校6年生、中学校3年生)

体力テストでの総合評価 A+B の割合の向上を目指します

	小学校	中学校
現況値 2018年	53.9%	59.9%
将来値 2023年	60.0%	65.0%

11 学力診断テストにおけるヒアリングの正答率

ALTを活用した授業の実践を効果的に行うことで、学力診断テストにおけるヒアリングの正答率の向上を目指します

	中学1年生	中学2年生	中学3年生
現況値 2018年	78.4%	71.5%	66.9%
将来値 2023年	80.0%	77.0%	75.0%

13 市内小中学校トイレの洋式化率

市内小中学校におけるトイレの洋式化率の向上を目指します

現況値 2018年	52.2%
将来値 2023年	85.0%

10 児童生徒の読書習慣の定着状況

みんなにすすめたい一冊の年間目標達成率(小学校50冊・中学校30冊)の向上と読解力の定着を目指します

	小学校	中学校
現況値 2018年	78.0%	29.2%
将来値 2023年	85.0%	45.0%

12 教育施設の改修施設数

長寿命化改修、大規模改修を進め、安全で快適な学校施設の増加を目指します

	小学校	中学校
現況値 2018年	12 施設	5 施設
将来値 2023年	16 施設	7 施設

14 子どもを守る110番の家設置件数

地域連携体制が弱体化しないよう、「子どもを守る110番の家」の認知度を上げ、設置件数を維持していきます

現況値 2018年	977 件
将来値 2023年	980 件

関連する計画・指針など

稲敷市教育大綱(2017年3月策定)

稲敷市教育振興基本計画(2017年度～2021年度)

稲敷市運動部活動の在り方に関する活動方針(2018年7月策定)



外国語指導助手(ALT)の授業風景

政策

2

楽しく学び続ける環境を
つくみましょう！

すべての市民が生涯を通じて、自由に学び、スポーツを楽しむ文化的・健康的な暮らしが実現できるといいですね。そのため、市民が主体となった活動を積極的にサポートし、地域の人々が気軽に講座や教室に参加できる環境づくりを目指します。

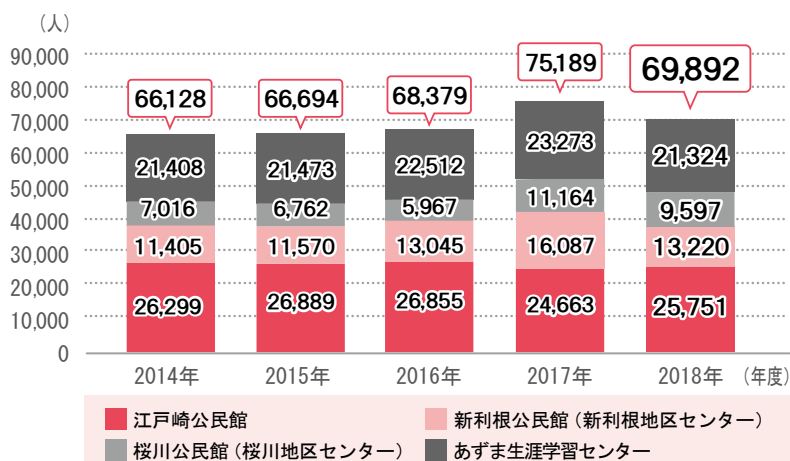
施策 1

市民主体の生涯学習社会の構築（図書館・公民館・青少年健全育成）

誰もが、いつでも、自由に、学び・交流できる環境づくりを目指します。そのため、市民のライフステージなどに合わせた講座や教室の充実に努めるとともに、市民の主体的な活動を積極的に支援します。また、地域のすべての人に学習する機会を提供し、気軽に利用できる生涯学習（社会教育）の拠点として親しまれる公民館・図書館づくりを目指します。

家庭、地域、学校、行政が協力し、青少年のための健全な社会環境づくりを進めます。

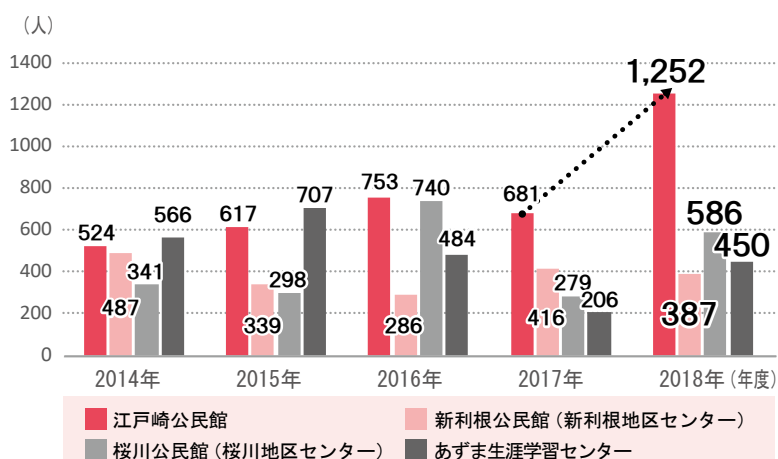
公民館利用者数



5年前と比べ
総数は
やや増加
しています。

UP

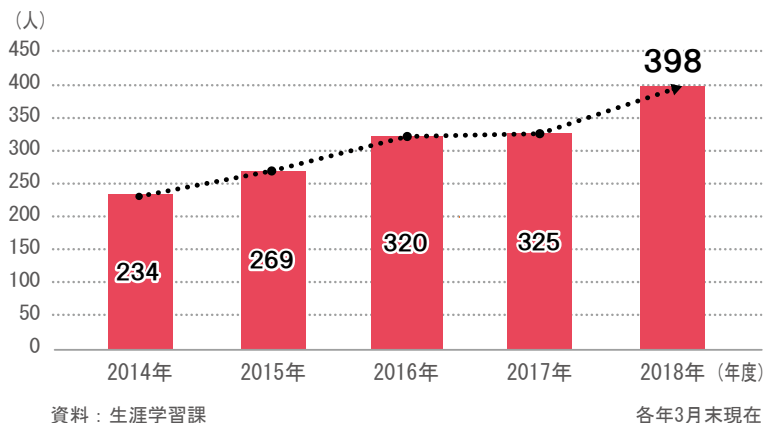
公民館講座の延べ参加人数



2018年度では
江戸崎公民館の利用者が
特に多く、2017年度に
比べて大きく増加してい
ます。

UP

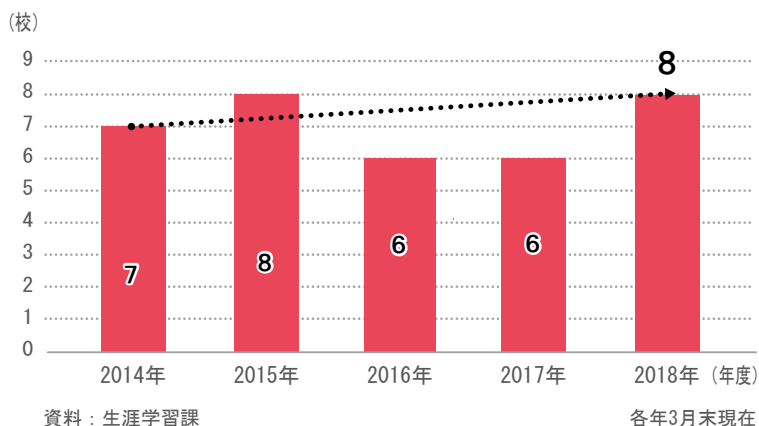
いなしき大学の受講者数



高齢者大学
「いなしき大学」の
受講者数は
年々**増加**
しています。

UP

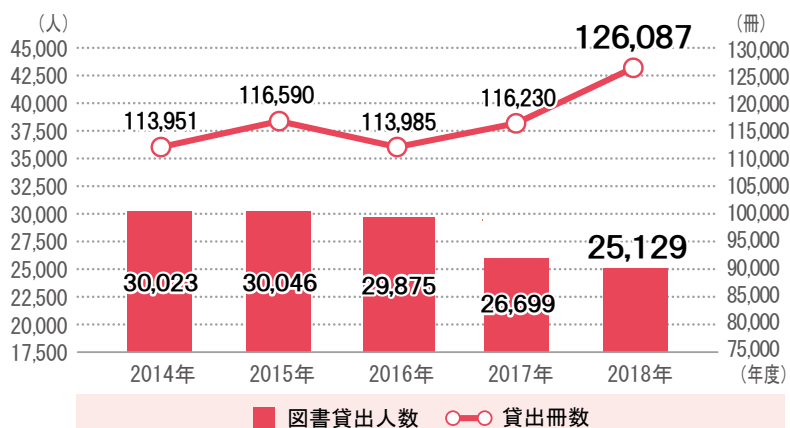
放課後子ども教室の開催校数



2018年度では
10校中8校で
開催されています。

UP

図書館利用状況と貸出冊数



2014年度からの5年間の推移

図書貸出人数

貸出冊数

DOWN

減少傾向

UP

増加傾向

具体的な取組

取組 ① 市民の生涯学習支援（各種講座・教室の支援）

1	生涯学習活動に取り組む市民や団体・グループ等に対し、積極的な支援に努めるとともに、新たな団体・グループ等（単位こども会、高校生会等）の育成を推進します。	生涯学習課
2	市民の教養の向上や健康の増進を図ることなどを目的とする各地区の社会教育施設等においては、公民館活動及び市民協働の拠点としての充実を図ります。	生涯学習課 公民館 市民協働課
3	高齢化社会に対応した「いなしき大学」の活動の促進や、市民講師型講座「いなしき・るーむ」を推進し、生涯学習とスポーツとの連携充実を図ります。	生涯学習課
4	生涯学習活動に関する市民ニーズの把握に努め、各年代層やライフステージに対応した講座や教室の開設と内容の充実を図ります。また、これまで生涯学習活動に関わりのなかった市民の参加を促すため、休日や夜間の講座開設などを検討します。	生涯学習課
5	趣味や教養を目的とした利用者の多い講座や健康増進を目的とした講座のさらなる充実を図るとともに、ニーズに応じた題材や地域特性に応じた講座・教室についても充実を図ります。	公民館
6	生涯学習人材バンク（リーダーバンク）を効果的に活用するため、市内で活躍する優れた技能を持つ人材の発掘と制度のPRに努め、生涯学習活動のさらなる活性化を図ります。	生涯学習課
7	公民館やコミュニティセンターなどについては、計画的な整備計画を策定し、老朽化した建物の改修やバリアフリーに対応した施設整備、設備の更新などを計画に基づき順次進め、安全で利用しやすい環境づくりに努めます。	公民館

取組 ② 図書館サービスの充実

1	市民が利用しやすい図書貸出しを進めるため、総合的な図書館ネットワークの効率的な運用を行い、図書サービスの充実を図ります。	図書館
2	茨城県図書館情報ネットワークによる県内の図書館等との本や視聴覚資料の相互貸借、それに伴う配送体制を維持していきます。	図書館
3	利用者のニーズを把握し、幼児から高齢者まで、各年代層に対応した蔵書及び社会情勢にも配慮した蔵書の整備を進めるとともに、ユニバーサルデザインに配慮した館内施設整備により誰もが快適に利用できる環境づくりに努めます。	図書館
4	学校図書館と連携し、読書通帳の充実など、子供の読書環境の整備と読書の習慣づけにより児童生徒の読書活動を推進します。	図書館

- | | | |
|---|--|-----|
| 5 | IT利用環境などに対応した館内設備の整備と併せて視聴覚ソフトの充実を図ります。また、広報紙、ホームページ、宝ブログなどを活用し、新刊や新着情報、各種行事の開催などについての情報提供を行います。 | 図書館 |
| 6 | 読み聞かせ、おはなし会の実施など、子どもの読書活動の充実及び読み聞かせボランティアの育成を図ります。 | 図書館 |

取組 ③ 青少年対策の充実

- | | | |
|---|--|-------|
| 1 | 青少年育成稲敷市民会議による青少年主張大会の開催支援と啓発や普及に努めるとともに、青少年相談員による相談会の実施、有害図書や違法看板の撤去、映画会の実施、自動販売機の規制や立ち入り調査など、環境浄化活動の促進に努めます。 | 生涯学習課 |
| 2 | 青少年に関わりの深い業種の店舗に対し、「青少年の健全育成に協力する店」の登録を推進し、青少年のための健全な社会環境づくりに努めます。 | 生涯学習課 |
| 3 | 学校や地域など各種団体と協力し、夏まつりの巡視運動や大型商業施設での街頭啓発キャンペーンを実施します。 | 生涯学習課 |



目指すこと

〔目標指標〕

指標

1 いなしき大学の
受講者数

いなしき大学の受講者数の増加を目指します

現況値 2018年

398 人

将来値 2023年

400 人

2 公民館講座の
受講者数

公民館講座に参加する市民の数の増加を目指します

現況値 2018年

577 人

将来値 2023年

600 人

3 市民一人当たりの
図書貸出し冊数

市民一人当たりが一年間で借りる図書の冊数の増加を目指します

現況値 2018年

3.1 冊

将来値 2023年

4.0 冊

4 図書館の来館者数

図書館の来館者数の増加を目指します

現況値 2018年

51,293 人

将来値 2023年

60,000 人

5 青少年の健全育成

青少年の健全育成に協力する店舗の増加を目指します

現況値 2018年

59 店

将来値 2023年

85 店

6 生涯学習講座の
参加人数

生涯学習講座を拡大し、参加人数の増加を目指します

現況値 2018年

590 人

将来値 2023年

650 人

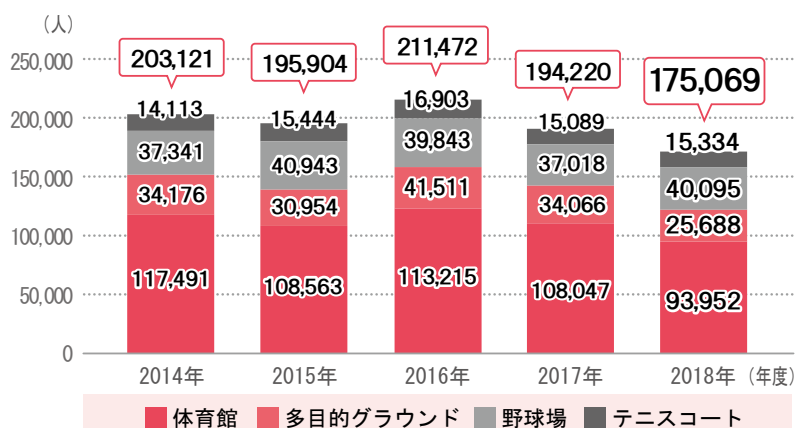
関連する計画・指針など

稲敷市子ども読書活動推進計画（2018年度～2022年度）

施策2 市民が楽しく取り組める生涯スポーツの推進

市民のスポーツへの関心を高め、心身ともに健康で活力ある生活が形成されるようなスポーツ環境の整備を進め、障がいの有無にかかわらず誰もがスポーツを楽しめる環境づくりを目指します。

スポーツ施設利用者数



資料：生涯学習課

各年3月末現在

2016年度から
減少傾向に
あります。

DOWN

具体的な取組

取組 ① 生涯スポーツ・レクリエーションの推進

- | | | |
|---|--|------------------|
| 1 | 「稲敷市スポーツ振興基本計画」に基づき、市民のスポーツ活動、健康づくりを推進します。 | スポーツ振興課 |
| 2 | 市民誰もがスポーツ・レクリエーション活動に楽しく参加できるよう、市民、地域、関係団体の協力を得ながら「稲敷市民スポーツフェスティバル」をさらに充実させるとともに、日ごろの活動成果を生かす機会として、各種スポーツ大会を開催します。 | スポーツ振興課 |
| 3 | 市内で活動する体育協会やスポーツ少年団の活動支援を図ります。 | スポーツ振興課 |
| 4 | スポーツ研修会を開催するとともに、多様なスポーツ教室等の実施や指導者の育成、確保に努めます。 | スポーツ振興課 |
| 5 | 障がいの有無にかかわらず、誰もがスポーツを楽しめる環境づくりや、障がい者スポーツに対する理解を深めるための啓発活動など、障がい者スポーツの普及促進に努めます。 | スポーツ振興課
社会福祉課 |
| 6 | 稲敷ふるさと大使である茨城ゴールデンゴールズの活動環境の整備に努めます。 | スポーツ振興課 |

7

いきいき茨城ゆめ国体 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機に、市民のスポーツに対する意欲や関心を高め、生涯スポーツの一層の普及・振興を推進するとともに、地域交流を促進し、新たな活力と賑わいの創出を図ります。

スポーツ振興課

取組 ②

生涯スポーツ施設の整備及び維持管理

1

スポーツ施設の管理運営コストなどを十分に勘案し、経年劣化した施設の改修や耐用年数を過ぎた設備の更新等について整備計画を策定し、利用しやすく管理しやすい施設整備を推進します。

スポーツ振興課

2

屋内型市民プールの整備を検討し、幅広い世代が健康づくり・体力づくりに取り組める環境の整備を目指します。

スポーツ振興課

取組 ③

スポーツ施設の利用度向上と広報・啓発活動

1

スポーツ施設利用の利便性の向上と公平性の確保を図るため、インターネットによる空き情報の公開や施設予約方法の簡素化を進めます。

スポーツ振興課

2

市民の多様なスポーツニーズに対応するため、広報紙やホームページ、SNSなどの情報媒体を通してスポーツに関する情報の提供に努めます。

スポーツ振興課

目指すこと

〔目標指標〕

指標

1

スポーツフェスティバルの参加者数

各種目の検討に加え、より充実したイベントとして参加者を募り、参加者の増加を目指します

現況値 2018年

1,469 人

将来値 2023年

3,000 人

2

スポーツ少年団の団員数

スポーツ少年団（児童・生徒）の活動を促進し、団員数の減少の抑制に努めます

現況値 2018年

656 人

将来値 2023年

650 人

3

スポーツ教室の参加者数

幅広い世代に対応した教室の企画などにより、スポーツ教室の参加者数の向上を目指します

現況値 2018年

162 人

将来値 2023年

330 人

4

社会体育施設の利用者数

施設管理システムにより、利用者の利便性を図り、社会体育施設の利用者の増加を目指します

現況値 2018年

21 万人

将来値 2023年

22.5 万人

5

体育協会加入団体数

現在の体育協会（スポーツ少年団含む）加入団体数を人口の増減に合わせ維持します

現況値 2018年

71 団体

将来値 2023年

70 団体

関連する計画・指針など

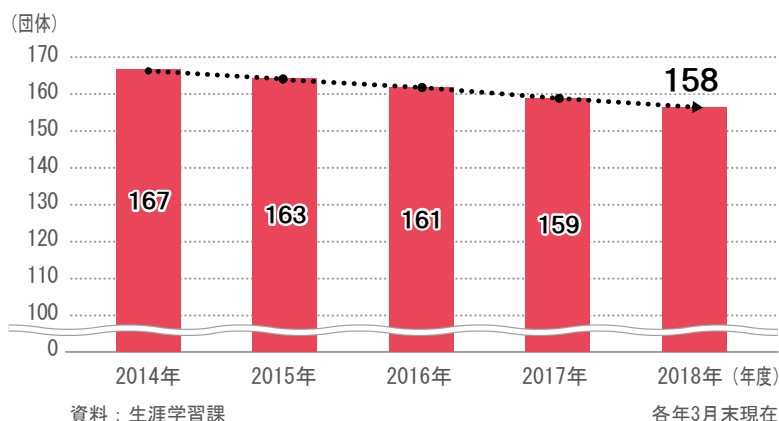
稲敷市スポーツ振興基本計画（2008 年度～ 2017 年度）

施策3 地域文化の継承（歴史・文化財、芸術・文化、国際化・国際交流）

次世代を担う子ども達が「稲敷文化」を引き継いでいけるよう地域の歴史や文化に気軽に触れ、楽しく学べる環境づくりを目指します。そのため、市民の文化活動を支援し、様々な文化事業を展開します。

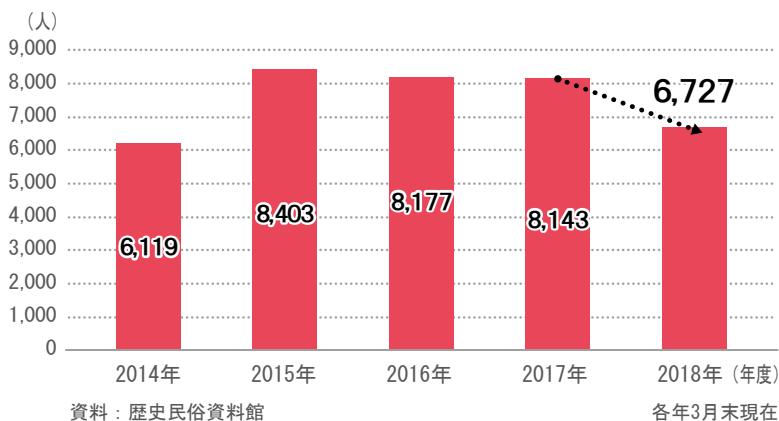
また、市民の国際感覚の醸成及び向上を図るため、国際交流活動を積極的に支援します。

文化団体数



2014年度と比較して
約**10**団体**減少**
しています。

稲敷市歴史民俗資料館の入館者数



5年間の平均
7,514人

2018年度は
大きく**減少**
に転じました。

DOWN

海外派遣事業・受入事業の参加者数



	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
海外派遣事業の参加者数	21人	23人	派遣なし	24人	派遣なし	23人
受入事業のホストファミリー数	16家族	受入なし	19家族	受入なし	22家族	受入なし

資料：市民協働課

各年3月末現在

具体的な取組

取組 ① 芸術・文化活動の支援と次世代への継承

1	市民が地域の中で質の高い芸術や文化に触れる機会を創出するため、様々な文化事業を展開するとともに、芸術・文化活動の支援として、市内で活躍する文化団体の活動の支援、文化祭や各種作品展、発表会などの活動機会の拡充を図ります。	教育政策課 生涯学習課 公民館
2	次世代を担う子ども達に、稲敷市民としての誇りやかけがえのない故郷を継承していくため、地域の伝統を大切にする子ども達を支援するとともに、伝統芸能の保存活動などに努めます。	教育政策課
3	稲敷市歴史民俗資料館の展示室の増設・改修を検討するとともに、市民の郷土に対する知識や理解を深めるための企画展等や市民参加を促進する史跡巡りなどのイベントを積極的に開催します。	歴史民俗資料館
4	収集、蓄積された郷土資料のデータベース化を促進するとともに、解説書やパンフレットなどの充実を図り、インターネットなどを活用した情報の公開や活用を促進します。	歴史民俗資料館
5	郷土資料の収集や調査・研究に努め、主に資料紹介や研究論文等を広報誌や館報に掲載します。また、市民ニーズの高い企画展示や、見学会を実施するとともに、講座、講演会資料の調査研究活動を行います。	歴史民俗資料館

取組 ② 文化財保護の推進と利活用

1	埋蔵文化財包蔵地マップや遺跡台帳のGIS（地理情報システム）を活用し、市民や事業者に対し、円滑な事務処理を行います。	教育政策課
2	稲敷市の文化財保護計画を策定するとともに、市内の未指定文化財に対する調査の実施と指定物件の抽出や指定に努め、指定文化財や史跡などへの補助を検討します。	教育政策課
3	稲敷市の指定文化財を未来に継承していくため、伝統芸能の保存会の活動の支援等に努めます。	教育政策課

取組 ③ 国際化・国際交流・多文化共生の充実

1	お互いの文化や習慣の理解を深めるため、国際交流活動の充実に努めます。また、外国人が暮らしやすい環境づくりのため、生活に必要な情報の発信などに努め、多文化共生の推進に努めます。	市民協働課
2	本市の次世代を担う子ども達の国際理解の醸成と国際化に向けた人材育成などを図るため、市内在住の中高生などを対象にカナダのサーモンアーム市との姉妹都市交流を推進します。	市民協働課

目指すこと

〔目標指標〕

指標

1 文化団体数

活動団体の発展及び文化団体数の維持に努めます

現況値 2018年

158 団体

将来値 2023年

160 団体

2 稲敷市歴史民俗資料館の年間入館者数

市の歴史・文化に関する質の高い企画展示の充実と普及活動により、来館者数の増加を目指します（将来的に年間 10,000 人を目指します）

現況値 2018年

6,700 人

将来値 2023年

9,000 人

3 稲敷市歴史民俗資料館の企画への小中学生の参加者数

勾玉づくり教室、職場体験等の学習支援や、市民二一ズの高い歴史講座、史跡巡り、古文書講座等の開設等の教育普及の強化と充実を図り、小中学生の参加者の増加を目指します

現況値 2018年

500 人

将来値 2023年

600 人

4 指定文化財の公開、紹介記事掲載数

市内に存在する指定・未指定文化財に関し、市内外への周知活動として、資料館での展示や館報、広報紙での紹介記事の掲載数の増加を目指します

現況値 2018年

3 件

将来値 2023年

10 件

5 稲敷市歴史民俗資料館の講座への参加者数

資料館講座の継続を図り、参加者の確保に努めます

現況値 2018年

301 人

将来値 2023年

100 人

6 海外派遣の参加者数

海外派遣事業における参加者数の維持・確保に努めます

現況値 2018年

23 人(252人)

将来値 2023年

23 人(298人)

7 ホストファミリー数

海外派遣事業の受け入れ側となるホストファミリー数の維持・確保に努めます

現況値 2018年

22 延べ家族(208家族)

将来値 2023年

20 延べ家族(248家族)



姉妹都市交流（友情の門）

